



# かもめ



## 人とのつながりと社会参加

校長 山下 裕市

観光地の店先で「春夏秋冬」の看板を見かけます。秋が抜けているので「あきない（商い）中」、ご存じのとおり営業中の意味ですね。今年の季節も表しているような気がしています。

さて、堅い話になりますが、本校の教育目標に「社会参加」という言葉があります。はやりの生成AIに「社会参加の意味を教えて？」ときいてみました。すると、＜社会的つながりの構築、自己肯定感・幸福感の向上、個人の健康維持の向上＞と出てきました。どれもなるほどですね。子供たちの「社会参加」と聞くと、遠い先のことに思えるかもしれませんが「社会」の2文字を指で隠してみると少し身近になります。目の前のことへの「参加」の積み重ねが社会参加につながっていくと思っています。家庭生活、学校生活、授業、学校・地域の行事など様々な場面の参加があります。人とのつながりが生まれ、お互いを知り合えることにもつながります。災害時の避難所では、ラジオ体操係を担当した特別支援学校在籍の子供さんがいたと聞きました。毎朝笑顔で大勢の前でお手本を示します。避難所の人の心をつなぎました。大切な参加です。

子供たちがぜひともやってみたいと思える参加機会を作ることは、大人の役割の一つだと考えています。学校も然り。一人一人の子供たちの得意を生かした参加の機会を多様に設定することは大切です。対面だけでなく、絵画や音楽での参加も考えられます。子供たちの社会参加を支援することを通じて、地域の方々や事業所等の方々など大人同士の連携も生まれています。子供たちも、大人の私たちも人とのつながりが社会参加につながるという視点を持って一緒に楽しみたいものです。

## 児童生徒の表彰・受賞

### ◆ 第24回全国障害者スポーツ大会 フライングディスク競技

10月25日～ 27日 滋賀県大会 ◆

富山県代表 石原 狂司狼

ディスタンス競技 銀メダル（48m96cm）

アキュラシー競技 銅メダル（10投中7投成功）



### ◆ 室井滋のしげちゃん☆おはなしラジオ 図画・作文コンクール ◆



＜しげちゃん賞＞中嶋 優斗

＜FMとやま賞＞高森 悠綺、山口 陽愛、山田 大和、林 健太、

氷見 竜魁、岸本 恵弥、右近 大知、他1名

### ◆ パイロット美術展 ◆

＜優良賞＞ 本井 直也

＜入賞＞ 森川 愛莉、甲野 滋也、二宮 光、大澤 愛夏、金山 詩歩



### ◆ 障害者スポーツ大会 ◆



第25回富山県障害者スポーツ大会 陸上競技

100m 走 2位 12秒55（大会新記録） 石原 狂司狼

200m 走 1位 26秒19（大会新記録） 石原 狂司狼

# 修学旅行に行ってきました

中学部3年 9月18日～19日

「福井恐竜博物館、ゆのくにの森、トレインパーク」

高等部3年 10月2日～3日

「東京ディズニーランド、浅草方面」



キャストに質問



間近で動くティラノサウルスを見たり、トレに自分の絵を蒔絵で描く体験をしたりしました。トレインパークでは、新幹線の運転体験をして大満足でした。

ディズニーランドの楽しい雰囲気を楽しみました。キャストの姿から仕事について学ぶこともできました。スカイツリーの展望台や浅草寺なども見学してきました。

## 各学部の活動紹介

### 小学部



冷たくて気持ちいい！

#### 1・2学年遊びの指導 「水遊び」

友達と水のかけ合いや、水中おもちゃ探しを楽しみました。



アイスどうぞ！

ありがとう

#### 3・4学年 遊びの指導 「ショッピングモールで遊ぼう」

好きなお店をまわり、店員さんとやり取りを楽しみました。



#### 5・6学年 生活単元学習 「お仕事体験をしよう」

石田公民館で石田赤十字奉仕団のみなさんと掃除をしました。

### 中学部



サツマイモのまわりを  
やさしく掘ろう

#### 3学年 学年作業 「石田地区老人会との交流会」

サツマイモの掘り方のコツを教えてもらいながら、たくさん収穫しました。



ここをねらって！

オリジナルモルック

#### 1, 2, 3年合同総合的な学習 「レクリエーション」「音楽」「工作」「パソコン」「家庭」

休日の余暇につながる五つの班で活動しています。友達と話し合ったり、やり方を工夫したりして取り組んでいます。



紙コップで楽器作り

### 高等部



#### 1～3学年 進路指導 「先輩に聞く」

卒業生から働くことや卒業後の生活について話を聞きました。



#### 1～3学年 特別活動 「選挙に関する出前授業」

講師を招き、選挙の目的や投票の方法を学びました。



このくらい離れるといいかな

#### 2学年 自立活動 「心地よい距離を見つけよう」

人との適切な距離を体験を通して学びました。